

【科目名】 基礎運動学概論		【担当教員】 栗生田 博子
【授業区分】専門基礎分野(リハビリ関連科目)	【授業コード】 3-15-0515-0-1	(メールアドレス) aoda@nur.ac.jp (オフィスアワー) 水曜日：12:00～14:00
【開講時期】1年次 後期	【選択必修】必修	
【単位数】 2単位	【コマ数】 15コマ	
<b>【注意事項】</b> (受講者に関わる情報・履修条件) ・解剖学, 生理学, 物理学を復習しておくこと (受講のルールに関わる情報・予備知識) ・A4サイズのレポート用紙を各自準備しておくこと		
<b>【講義概要】</b> (目的・方法) ・リハビリテーションを実施するためには身体運動の分析が必要です。本講義では、運動に関する用語や、身体運動に関する分析方法の基本的概念を学びます。また、身体の構造や機能について解剖学や生理学の知識を統合し、身体運動について考えます。		
<b>【一般教育目標(GIO)】</b> ・運動や動作の観察と分析を行うための基本的手段や用語を理解し、記述・説明することができる <b>【行動目標(SBO)】</b> ・運動, 動作に必要な身体機能と構造を理解し、記述・説明することができる ・姿勢や歩行について運動学用語を使って記述・説明することができる ・生体力学の基礎について記述・説明することができる		
<b>【教科書・リザーブドブック】</b> 教科書: Donald A. Neumann 原著, カラー版 筋骨格系のキネシオロジー 原著第2版, 医歯薬出版(株), 2013年, ¥12,000 (税別)		
<b>【参考書】</b> ・中村隆一, 他『基礎運動学 第6版』医歯薬出版, 2003. ¥6,800 (税別) ・望月久, 他『PT・OT ゼロからの物理学』羊土社, 2015. ¥2,700 (税別)		
<b>【評価に関わる情報】</b> (評価の基準・方法) ・成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う ・学内規定に基づく出席回数, 提出課題 (レポート), 授業態度, 小テスト, 筆記試験を総合的に評価する ・初回講義時に提出課題の評価規準を提示する		

平成 26～28 年度入学者用

【達成度評価】								
	試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		60	10	20			10	100 点
評価指標	取り込む力・知識	60	10	10				80
	思考・推論・創造の力			10				10
	コラボレーションとリーダーシップ							
	発表力							
	学修に取り組む姿勢						10	10
【授業日程と内容】								
回数	講義内容			授業運営方法	学修課題(予習・復習)			(分)
1,2	・ 講義ガイダンス ・ 解剖学の確認 ・ 基礎運動学概説 ・ 人体関節の基本的構造と機能			講義, 小テスト	解剖学, 生理学の復習			60
3,4	・ 人体関節の基本的構造と機能			講義, 小テスト	講義内容の予習・復習			60
5,6	・ 筋: 骨格系の主要な安定器そして運動器			講義, 小テスト	講義内容の予習・復習			60
7	・ 生体力学の原則			講義, 小テスト	講義内容の予習・復習			60
8	・ 1~7 まとめ (小テスト) と解説			講義, 小テスト	講義内容の予習・復習			60
9,10	【上肢】肩複合体, 肘と前腕, 手根, 手			講義, 小テスト	講義内容の予習・復習			60
11,12	【体幹骨格】			講義, 小テスト	講義内容の予習・復習			60
13,14	【下肢】股関節, 膝関節, 足関節と足部			講義, 小テスト	講義内容の予習・復習			60
15	【歩行】			講義, 小テスト	講義内容の予習・復習			60

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。